

科目名	リベラルアーツ基礎A			授業コード	30236		
担当教員	舩井 道晴						
学科学年	DXHF1	開講期間	2023年度 後期	授業形態	講義	単位数	2
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン～ICT・データサイエンスとは～</p> <p>第2回 データサイエンスの応用事例</p> <p>第3回 データに基づく思考のために①：データの代表値</p> <p>第4回 データに基づく思考のために②：データの可視化</p> <p>第5回 データに基づく思考のために③：相関・回帰・モデル分析</p> <p>第6回 人工知能と機械学習・ディープラーニング</p> <p>第7回 実用化されている様々な技術</p> <p>第8回 オープンデータ</p> <p>第9回 データと倫理</p> <p>第10回 地域社会とICT</p> <p>第11回 SDGsとデータサイエンス</p> <p>第12回 新しいビジネスの潮流</p> <p>第13回 デザイン思考</p> <p>第14回 学期末演習</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>※各回のトピックに応じてグループを作りディスカッション等を行うことがあります。積極的に参加する姿勢をもって授業に臨みましょう。</p>			授業概要	<p>コンピュータを中心とする情報通信技術（ICT）は、個々の仕事を支援するだけではなく、人々をつなぎ、組織や国々をつなぎ、重要な社会基盤として定着しています。また近年では、通信の更なる高速化・大規模化によってもたらされる大量のデータの利活用にも焦点が当てられています。そこで本講義では、ICTと関連する分野や「データサイエンス」とよばれる分野について幅広く学び、それらがこれからの私たちの生活や社会についてどのように関わるかを考察していきます。</p>		
評価方法・基準	<p>・各回のトピックに基づいた小レポート：85%</p> <p>※レポートのフィードバックは授業内に行います。</p> <p>・期末演習：15%</p> <p>また、ループリックによる到達度の把握も適宜行います。</p>			到達目標	<p>(1) ICT・データサイエンスへの興味・関心を醸成する。</p> <p>(2) ICT・データサイエンスと自らの専攻分野との関連性を考察し、応用する力を身につける。</p> <p>(3) アイデアをまとめる力、アイデアを提示する力を身につける。</p>		
教科書1	配布資料を用意します。			準備学習（予習・復習等）	<p>・1週間に3時間程度の準備学修（予習・復習等）が必要となる。</p> <p>・予習：翌週分の配布資料に目を通しておくこと</p> <p>・復習：配布資料および講義ノートを用いて復習し、要点をまとめておくこと</p>		
著者名							
出版社	価格						
教科書2				履修上の留意点	<p>・欠席した場合は当該の授業内容について質問をしてください。</p> <p>・出席回数が3分の2未満の場合は原則として「無効」となるので注意してください。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、講義形式や順番などを変更する場合があります。</p> <p>・毎回の授業に関する内容をノート等にまとめること。</p>		
著者名							
出版社	価格						
教科書3				ディプロマ・ポリシー（DP）との関連	<p>大学DP 4</p> <p>HP参照</p> <p>{http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html}</p>		
著者名							
出版社	価格						
参考となる書籍・URL	必要に応じて授業内で指示します。			備考（ナビリング等）	<p>{https://www.mgu.ac.jp/main/campus/curriculum/index.html}</p>		
実務経験と授業との関連	<p>広告会社での実務経験やシステム・ソリューション会社との共同事業などの経験を活かし、コミュニケーション能力や論理的思考力を高める授業を行う。（実務経験有）</p>						